

# 鎌田池 (かまだいけ)

## 位置図



## 諸元 (下池)

貯水量	453.3 千m <sup>3</sup>
満水面積	11.9 ha
受益面積	15.0 ha
堤高	6.6 m
堤長	710 m

鎌田池(下池)は JR 坂出駅から南へ約 1 キロの位置にあり、国道 11 号線に沿った桜並木の堤防からは、水面や南側の渚部に坂出中学校を望むことができます。

下池は寛永 4 年(1627 年)に西嶋八兵衛により築かれたと文献に記されていますが、上池についてはそれ以前に築造されたようです。

下池は文政 1 2 年(1829 年)久米栄左衛門による掛井手(導水路)の整備や、明治 2 7 年(1894 年)の増築、昭和 2 9 年(1954 年)からの 4 年間の改修工事等で現在の形になりました。

受益地は一時 2 0 0 ha に達していましたが、塩田開発や臨海工業団地整備に伴う宅地転用や昭和 5 0 年(1975 年)ごろからの市街化の進行により、現在受益地は 1 5 ha に減少しています。

鎌田池はかんがい用水、洪水調節として利用されると共に、周囲に桜並木の遊歩道が整備され、市民の憩いや散策の場として親しまれています。

一方、上池は坂出市の飲料水不足を解消するため、昭和初期から府中ダムが完成する昭和 5 1 年(1976 年)まで上水道水源池として利用されましたが、今は役目を終え「かわつ花菖蒲園」として生まれ変わりました。毎年 6 月上旬の花菖蒲祭りや茶会の時期に合わせ、約 7 万本の花菖蒲が咲き誇る庭園が一般公開され、近隣の市民が多く訪れ、色鮮やかな親水空間を楽しんでいます。



桜並木と鎌田池



かわつ花菖蒲園